科目基礎情報 科目書号 0091	さと経済						
科目協与 10091							
授業形態 授業 単位の種別と単位数 学修単位:1 別察字年 4 日 2 別察字年 4 日 3 別察字年 4 日 3 別察字年 4 日 3 別							
別談別							
製料書/教材							
担当教員 担当教員 松岡 由佳 到達目標							
①達日標 1. 基本的人権や新しい人権について、テータ等を用いた考察ができる。 2. 地方自治や財政について、データ等を用いた考察ができる。 3. 冷戦後の国際政治や国際経済について、データ等を用いた考察ができる。 3. 冷戦後の国際政治や国際経済について、データ等を用いた考察ができる。 ループリック 理想的な到達レベルの目安 基本的人権や新しい人権に関する 発展的な学習項目を理解し、多様 な観点から深い考察ができる。 評価項目 2 地方自治や財政に関する発展的な 学習項目を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。 地方自治や財政に関する発展的な 学習項目を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。							
日・ 基本的人権や新しい人権について、多面的な考察ができる。 日・ 地方自治や財政についてデータ等を用いた考察ができる。 日・ 地方自治や財政についてデータ等を用いた考察ができる。 日・ 中でデータ等を用いた考察ができる。 日・ 中でデータ等を用いた考察ができる。 日・ 中でデータ等を用いた考察ができる。 日・ 中でデータ等を用いた考察ができる。 日本的人権や新しい人権に関する							
2. 地方自治や財政について、データ等を用いた考察ができる。 3. 冷戦後の国際政治や国際経済について、データ等を用いた考察ができる。 ルーブリック 理想的な到達レベルの目安 基本的人権や新しい人権に関する 系展的な学習項目を理解し、多様 な観点から深い考察ができる。 地方自治や財政に関する発展的な 学習項目を理解し、データ等を用 いて深い考察ができる。 地方自治や財政に関する発展的な 学習項目を理解し、データ等を用 いて深い考察ができる。 冷戦後の国際政治や国際経済に関 する発展的な学習項目を理解し、データ等を用 いて深い考察ができる。 冷戦後の国際政治や国際経済に関 する発展的な学習項目を理解し、データ等を用 いて深い考察ができる。 冷戦後の国際政治や国際経済に関 する発展的な学習項目を理解し、データ等を用 いて深い考察ができる。 冷戦後の国際政治や国際経済に関 する暴健的な学習項目を理解し、データ等を用 の表現の対策を選 の主を変することを目指す。具体的には、以下の3つのデーマを取り上 の1の基本的人権・新しい人権 (2)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 (2)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 (2)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 (2)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 主にパワーポイントを用いて授業を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『 「活本的人権・新しい人権 (3)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 (4)世が自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 (4)世が自治・財政 (4)世が自治・財政 (4)世が自治・対策を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『 「活本書の、対策を関する事柄について自分を ほしい。 (4)教科書等の忘れ物、授業中の居服り、携帯電話の使用等に減点の対象となるので、十分。(4)関連の提出関限である。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 対策を要する場合がある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。とがある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。とがある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。とがある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。とがある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 社を変する場合がある。とがある。ただし、新型コロナウイルスの配 ・ 大学の表の性・履修上の区分							
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 基本的人権や新しい人権に関する 発展的な学習項目を理解し、多様 最初のよ学習項目を理解し、学習 内容を踏まえた考察ができる。 地方自治や財政に関する予報と、データを開まる発展的な学習項目を理解し、学習 内容を踏まえた考察ができる。 地方自治や財政に関する予報との 大学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
課価項目1 - 基本的人権や新しい人権に関する 発展的な学習項目を理解し、多様 方観点から深い考察ができる。 内容を踏まえた考察ができる。 内部 全球面目を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。 内部 全球面目を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。 内部 全球面目を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。 かまり自治や財政に関する基礎的な学園自を理解し、データ等を用いて深い考察ができる。 か職後の国際政治や国際政治や国際政治や国際政治や国際政治や国際政治や国際政治や国際政治や							
評価項目1	<u> </u>						
評価項目2 学習項目を理解し、データ等を用 に深い考察ができる。	本的人権や新しい人権に関する 習項目の理解が不十分である。						
評価項目3 する発展的な学習項目を理解し、	ち自治や財政に関する学習項目 里解が不十分である。						
図館高専教育目標 D 教育方法等 現代社会は様々な課題に直面している。この授業では、国内外の政治・経済に関する調的な視点から多面的に考察することを目指す。具体的には、以下の3つのテーマを取り上①基本的人権・新しい人権②地方自治・財政③冷戦後の国際政治・国際経済 主にパワーポイントを用いて授業を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『清水書院)も活用するので、受講希望者は取っておくこと。授業時間外の課題として、予(こ取り組んでもらう。知識の習得にとどまらず、授業内容に関連する事柄について自分をほしい。 参科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分の課題の提出遅れや未提出は減点の対象となるので、必ず提出期限を守ること。②インターネットからのコピーや他人のレポートの与しと判断した提出物は、すべての点と。※授業内課題やグループワークを実施することがある。ただし、新型コロナウイルスのページを変更する場合がある。※本科自は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間・テスト等のための学修)を併せて45時間である。自学自習の成果は、課題によって評価授業の属性・履修上の区分 アクティブラーニング 「ICT 利用 」 遠隔授業対応 「政治と経済での学習で、日本国憲法が保障する。 第3、広がる人権、新しい人権	戦後の国際政治や国際経済に関 る学習項目の理解が不十分であ						
図館高専教育目標 D 教育方法等 現代社会は様々な課題に直面している。この授業では、国内外の政治・経済に関する調的な視点から多面的に考察することを目指す。具体的には、以下の3つのテーマを取り上①基本的人権・新しい人権②地方自治・財政③冷戦後の国際政治・国際経済 主にパワーポイントを用いて授業を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『清水書院』も活用するので、受講希望者は取っておくこと。授業時間外の課題として、予に取り組んでもらう。知識の習得にとどまらず、授業内容に関連する事柄について自分をほしい。 ②教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分の課題の提出遅れや未提出は減点の対象となるので、必ず提出期限を守ること。②インターネットからのコピーや他人のレポートの与しと判断した提出物は、すべての点と、※授業内課題やグループワークを実施することがある。ただし、新型コロナウイルスのページを変する場合がある。※本科自は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間・テスト等のための学修)を併せて45時間である。自学自習の成果は、課題によって評価授業の属性・履修上の区分 「アクティブラーニング」 ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 授業計画 担選を経済での学習で、日本国憲法が保障する。 ・日本国憲法が保障する。 ・新しい人権の内容を記述の対象となるので、当時によって評価が表していて記述していて記述していて記述していて記述していて記述していて記述していて記述していて記述していて記述していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい							
概要 りな視点から多面的に考察することを目指す。具体的には、以下の3つのテーマを取り上で、1 基本的人権・新しい人権 (2地方自治・財政 (3) 合戦後の国際政治・国際経済 主にパワーポイントを用いて授業を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『清水書院』も活用するので、受講希望者は取っておくこと。授業時間外の課題として、予に取り組んでもらう。知識の習得にとどまらず、授業内容に関連する事柄について自分をほしい。 ● 教書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分の課題の提出遅れや未提出は減点の対象となるので、必ず提出期限を守ること。 ● インターネットからのコピーや他人のレポートの写しと判断した提出物は、すべて0点と、 ※授業内課題やグループワークを実施することがある。ただし、新型コロナウイルスの配一部を変更する場合がある。 ※本科目は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間・テスト等のための学修)を併せて45時間である。自学自習の成果は、課題によって評価授業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 授業計画							
概要 りな視点から多面的に考察することを目指す。具体的には、以下の3つのテーマを取り上で、1 基本的人権・新しい人権 (2)地方自治・財政 (3)冷戦後の国際政治・国際経済 まこパワーポイントを用いて授業を進める。第3学年の現代社会で使用した教科書(『清水書院』も活用するので、受講希望者は取っておくこと。授業時間外の課題として、予に取り組んでもらう。知識の習得にとどまらず、授業内容に関連する事柄について自分をほしい。 ●教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分ではしい。 ●教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分ではしい。 ●教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分ではしい。 ●教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分ではいい。 ●教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分ではいい。 ●教科書等の応わりではいいがでは、対しいた提出物は、すべての点は、では、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きに							
授業の進め方・方法 清水書院)も活用するので、受講希望者は取っておくこと。授業時間外の課題として、予に取り組んでもらう。知識の習得にとどまらず、授業内容に関連する事柄について自分をほしい。 ② 教科書等の忘れ物、授業中の居眠り、携帯電話の使用等は減点の対象となるので、十分。課題の提出遅れや未提出は減点の対象となるので、必ず提出期限を守ること。。 ② インターネットからのコピーや他人のレポートの写しと判断した提出物は、すべて0点と、 ※授業内課題やグループワークを実施することがある。ただし、新型コロナウイルスの配一部を変更する場合がある。 ※本科目は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間・テスト等のための学修)を併せて45時間である。自学自習の成果は、課題によって評価授業の属性・履修上の区分 □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 授業計画 「授業内容 週ごとの到達目標 ・ 政治と経済での学習では、	②地方自治・財政 ③冷戦後の国際政治・国際経済						
 ○課題の提出遅れや未提出は減点の対象となるので、必ず提出期限を守ること。 ○インターネットからのコピーや他人のレポートの写しと判断した提出物は、すべて0点と。 ※授業内課題やグループワークを実施することがある。ただし、新型コロナウイルスの履一部を変更する場合がある。 ※本科目は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間・テスト等のための学修)を併せて45時間である。自学自習の成果は、課題によって評値授業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	同等子仪 利克(で任会 利目版) を習もしくは復習のための課題 よりに考えることを大切にして						
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 接続授業計画 週 授業内容	とするので、十分に注意するご 感染状況によって、授業内容の 別以外の学修(予習・復習、課題						
週 授業内容 週ごとの到達目標 9週 ガイダンス 1. 自由権的基本権の保障 ・ 政治と経済での学習で ・ 日本国憲法が保障する。 10週 2. 社会権的基本権の保障 3. 広がる人権、新しい人権 ・ チャンの人権の内容を起こった。	実務経験のある教員による授業						
週 授業内容 週ごとの到達目標 9週 ガイダンス 1. 自由権的基本権の保障 ・ 政治と経済での学習で ・ 日本国憲法が保障する。 10週 2. 社会権的基本権の保障 3. 広がる人権、新しい人権 ・ チャンの人権の内容を起こった。							
週 授業内容 週ごとの到達目標 9週 ガイダンス 1. 自由権的基本権の保障 ・ 政治と経済での学習で ・ 日本国憲法が保障する。 10週 2. 社会権的基本権の保障 3. 広がる人権、新しい人権 ・ チャンの人権の内容を起こった。							
9週 ガイダンス 1. 自由権的基本権の保障 ・日本国憲法が保障する。 10週 2. 社会権的基本権の保障 3. 広がる人権、新しい人権 ・新しい人権の内容を野							
10週 2. 任芸権的基本権の保障 3. 広がる人権、新しい人権 ・新しい人権の内容を理解している。	・政治と経済での学習内容・学習方法を理解する。 ・日本国憲法が保障する自由権的基本権を理解できる。						
	・日本国憲法が保障する社会権的基本権を理解できる。 ・新しい人権の内容を理解できる。						
11週 4. 参以権の保障と国務請求権 きる。 きる。 ・日本の地方自治の原則	国憲法が保障する参政権と国務請求権を理解で D地方自治の原則を理解できる。						
7. 地方分権と行財政改革 ・ 地方分権と行財政改革	・日本の地方自治のしくみを理解できる。 ・地方分権と行財政改革の動向を理解できる。						
13週 8. 冷戦後の国際政治(1) ・冷戦後の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治(2) ・冷戦後の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治の国際政治	・冷戦後の国際政治の動向を理解できる。 ・冷戦後の国際政治の動向を発展的に理解できる。						
14週 10. 冷戦後の国際経済(1) ・冷戦後の国際経済の1 11. 冷戦後の国際経済(2) ・冷戦後の国際経済の1	・冷戦後の国際経済の動向を理解できる。 ・冷戦後の国際経済の動向を発展的に理解できる。						
	期末試験 ・間違った問題の正答を求めることができる。						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標	 を求める <i>こと</i> ができる。						
分類 分野 学習内容の到達目標							
評価割合	-						
計1回台1 ローニー における により により により により にない はんしゅう はまま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま	を求めることができる。						
定期試験 レバード 成業品 バードフォラオ その他 総合評価割合 70 30 0 0 0	到達レベル 授業週						
基礎的能力5010000	到達レベル 授業週合計						
450EUTHE// 1.30 1.00 1.00 10 10 10 10	到達レベル 授業週						

分野横断的能力	20	20	0	0	0	40
一刀:野性性が形別	20	20	U	U	U	140